

## 令和3年度 第9回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年10月10日（日） 9時30分～12時00分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員2名、子どもサポーター1名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) Instagramの投稿内容について  
・奈良市とのオンライン交流会について  
(2) 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表資料について  
(3) 今後の活動について

### 5 開催概要

前回に引き続き、今回もオンラインのみの開催となりました。

会議では、8月に行った奈良市とのオンライン交流会についての感想や、11月6日に参加する「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」の資料の準備などについて話し合いました。

また、会議の途中でアイスブレイクを行い、コロナ禍にあっても「オンラインだからこそ楽しめること」を実際に体験しました。

#### Instagramの投稿内容について

はじめに、8月21日に行った奈良市とのオンライン交流会のInstagramへの投稿内容について話し合いました。

今回参加した委員は全員奈良市とのオンライン交流会にも参加していたので、それぞれから奈良市の印象や感想について聞き取りをしました。

「奈良市は今年度完全オンラインで活動していると聞いて驚いた」

「自分たちは“まちづくりについて”や“スポーツについて”など複数のテーマで活動しているが、奈良市は1つのテーマに絞って活動しているのが新鮮だった」

「奈良市では雪が降らないことや、冬にスキーができないことなど、冬の過ごし方の違いについて詳しく知ることができた」

「何よりも、言葉の違いに気がついた。奈良市は関西弁ということだったが、大阪、京都、奈良でそれぞれ言葉遣いやイントネーションが違うことを発見できた」

「奈良市の子どもが雪に興味を持ったのは意外だった。自分たちにとって雪は生まれたときから身近にあったものだから、興味を持たれるとは思っていなかった」



「雪遊びってあるの？スキーするの？と聞かれた」

『ふぶきも体験してみて』と言ったら、『ふぶきってなに？』と聞かれて驚いた。頭の中ですぐに『吹雪』と変換されないくらい聞きなれない言葉だったみたい」

奈良市の子どもたちとの交流では、雪や冬の過ごし方、お互いの地域性の違いなどが印象に残りました。

また、Instagram へ投稿するときのキャッチフレーズについても案を出し合い、「どっちも最高です！奈良市 and 青森市オンライン交流会」に決定しました。

### アイスブレイク

今回は新たな試みとして、オンラインだからこそできるアイスブレイクとして、「おうち探索ゲーム」という、お題に沿ったアイテムを指定時間内に家の中から探してくるゲームをしました。

最初のお題の「赤いもの」では、柄の赤いドライバーや小さな郵便ポストの置物、事務室から参加した職員さんは消火器など、みんなが思い思いの物を持ってきてくれました。

続いて、自分が一番を競えるお題を各委員が順番に出していきました。「8文字以上のもの」というお題では、高校生委員が持っていた長いタイトルの書籍、「硬いもの」では事務室の金庫が一番になりました。一番硬いと言われているダイヤモンドを誰も持っていなかったのが残念です。最後のお題は「大きいもの」で、やはり事務室にある大人の身長よりも高いキャビネットが一番になりました。一番になれなかった委員は「長いものだったら負けないのに！」と悔しがっていましたが、良いリフレッシュになりました。



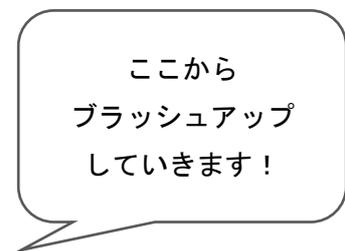
## 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表資料について

続いて、11月6日に開催される「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」で使用する発表資料について話し合いました。

資料は、奈良市とのオンライン交流会で使用したものを基に作成することにしました。奈良市との交流会の資料では奈良市と青森市のイメージカラーとして緑をベースにしていますが、今回は青森市をイメージさせる青や緑をたくさん使用することにしたほか、ねぶたの写真など青森市を象徴するものを活用して作成することになりました。

「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」では、全国から12団体が参加し、各団体の活動を紹介するので、青森市らしさを出すために、最初に津軽弁のあいさつを入れたり、表紙のサブテーマを「じゃわめぐ青森」にしたり、インパクトのある資料を作成したいと思います。

話し合いが進むと、パワーポイントを使える委員から「資料を作成したい」という声が上がったので、次回の会議までに資料を作ってきてもらうことになりました。



## 今後の活動について

次回の会議では、その資料を基にみんなで意見を出し合って発表原稿を作成するほか、11月に市民図書館で行う子どもの権利に関する展示のタイトルの検討、11月20日の「青森市子ども会議フォーラム2021」に向けた準備などを行う予定です。